

## 氏家中学校 生徒代表 神山 果澄様 スピーチ

ランチョパルスヴェルデスに行ったことは、私のこれまでの人生で最も楽しかった経験でした。アメリカで飛行機から降り、全くの新しい経験が始まりました。

食べ物は大きく、量がとても多かったです。アメリカの食べ物は、私が日本でいつも食べているものの3倍はありましたが、とっても美味しかったです。それらは、日本では食べたことのない味でいっぱい、驚きました。ホテルで食べたステーキは、4cmほどの厚さがあり、私の顔よりも大きかったです。食べ終わられるかみんなで競い合い、挑戦したことは楽しい思い出です。私はその巨大なステーキに勝ちましたが、席に座ってられないほど苦しくなりました。私のホストファミリーはハワイアンレストランを経営していて、そこで食べた食事は、最高でした。私はアメリカの様々な食べ物を経験できてとても嬉しかったです。

日本と全く違った経験は、買い物の文化です。サウスベイのテラシスは、私がこれまで行ったことのあるショッピングモールの中で1番大きかったので、私は、こんなに広いと迷子になってしまうと思いました。私はトレイダージョーズにずっと行きたいと思っていました。そしてついに行けたとき、そこは私の期待どおりでした。トレイダージョーズは私の予想よりもはるかに大きく、たくさんの種類のお菓子やキャンディがありました。そして、陳列されている棚を見て回るだけでとても楽しかったです。

私が初めてホストファミリーに会った時、お互いに少し緊張しているなど感じました。そして、これがアメリカ生活の始まりで、色々なことに少し不安がありました。しかしながら、勇気を出して、新しい経験に挑戦し、これまでの自分自身の殻を破ろうと決心しました。家に帰り、折り紙を教えてと頼まれました。このことは私にとって「鍵」となりました。日本の伝統的な折り紙を一緒にする中で、私が感じていたギャップや緊張は溶けてなくなり、自然と気軽にコミュニケーションを取ることができました。私が剣道をしていると家族に伝えた時、彼らはとても興味を持ってくれました。リビングに広くスペースを作ってくれ、私が持ってきていた竹刀を使い、一緒にいくつかの型を練習しました。撮ってもらった写真には、みんなの楽しそうな笑顔が写されていました。私はホストファミリーやホストファミリーの友人とボーリングにも行きました。最初は、彼らの会話に入ることが難しかったけれど、彼らがそのことに気づいてくれて、会話の仲間に入れる機会を作ってくれました。そのおかげで、ファミリーの友人とも友達になることができ、また会うことが楽しみの一つになりました。

私がミラステテ中学校に行った時、私が参加した全てのクラスの生徒たちが、私に声をかけてくれて歓迎してくれました。先生もクラスの活動に私も入れるようにしてくれました。私は彼らの人柄に感謝で一杯です。

このランチョパルスヴェルデスへの留学は本当に最高の経験でした。私はこの国際友好都市の決定において、より多くの生徒や市民が、自分たちの国際的な経験を通して、より広い世界観を持てることを願っています。このような経験をさせて頂き、ランチョパルスデルス市やみなさんには本当に感謝をしています。そして、またいつかみんなと会える日を楽しみにしています。